



7・8月

ちきゅうのこどもほいくえん 年間テーマ『ゆめとところを膨らまそう』 1歳児

2歳児

IC (1.2歳児) 🍷🍷

暑さも日々増していき、本格的な夏もすぐそこまで来ているようです。子どもたちは栽培で育てているピーマン、ズッキーニの変化を観察していたり、ダンゴムシやアゲハの幼虫の成長を見たり、夏に向かう自然物の成長をじっくりと観察しています。

梅雨から夏にかけて、気候の変化を大きく感じる時期なので、子どもたちの体調管理に気を付けながら、今月も元気いっぱい過ごして行きたいと思います。

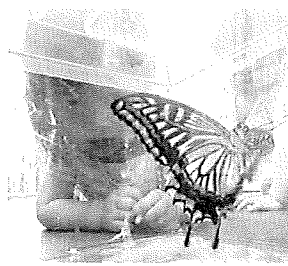
保育見学会、お忙しい中  
ご参加ありがとうございました！  
コロナも5類となり、保護者の方  
最大で2名まで子どもたちの様子を  
一緒にみる事ができ、大変嬉しく  
思います。  
日々の保育、育児の中で  
気になる点などございましたら  
お気軽にお声がけ下さい。

## 6月の子どもの様子

### 飼育

6月にはみかんのお部屋で飼っていたアゲハの幼虫が成虫になり、みんなで外に逃がしました。アゲハは蛹から出てくると羽を広げ、充分に乾かしてから飛べるようになります。その事をアゲハの図鑑を日頃から保育者と一緒に見て知っていた子ども達。中々飛ばないアゲハに「まだ、羽を乾かしているのかも」「もう少ししたら飛ぶかな？」と一緒に見守りました。ついにアゲハは空へ！「バイバーイ」とお別れをしました。その数日後、園庭にアゲハやモンシロチョウが花壇、金柑の木に集まっていました。もしかすると「お別れをしたアゲハかな…？」と嬉しそうな子どもたちでした。金柑の木に幼虫がいたのを発見し、現在のはれもん、みかんのお部屋でそれぞれ飼育しています。成長が楽しみですね♪  
大好きなお友だち

お友だちの事が大好きで側に行き、じっと観察してみたり、笑いかけてみたり…関わりが増えてきたように感じています。泣いている子がいると「どうしたの？」と声を掛けてくれる2歳児さん。そんな2歳児さんの真似をして後を追いかける1歳児さん。普段遊んでいない遊びにもそこから興味を持ちやってみようとする姿があります。その姿を私達もしっかりと見守り援助していきたいと思います。



今月のうた

きらきらぼし  
たなばたさま

「手を使ってなんでもやるよ」  
「ひとりでするの手伝ってね」

### ICの敏感期と自己肯定期

子どもが環境の中の特定の要素に対して、強く興味を持ち特別に敏感になる期間を「敏感期」と言います。ICの月齢の子どもたちには、運動、秩序、言語、感覚の「敏感期」が現れる時期です。「自己肯定期」はいわゆるイヤイヤ期のことです。生まれてからずっとお母さんと一心同体で生活してきた子どもたちでしたが、2歳頃になると“自分とお母さんは別の人なんだ！自分は自分なんだ！”と気がつき始めます。そのため、勝手に靴を履かせたり、着る物を決めたりすると“違う！自分で！でもまだできない！”とイヤイヤするのです。その時に、私たち大人は子どもが“一人でするのを手伝う”ことを心掛けたいものです。

また、秩序の敏感期でもあるので、いつもと同じ場所や時間、物などがあることが安心でさらに手掛かりとなり、子どもたちが自分でしやすくなります。

れもん、みかんどちらの子どもたちも、どこに何があるのかよく知っています。鼻水が出たら自分でティッシュを見つけて鼻を拭き、食べ終わったら食器を片付けています。なんども繰り返しながら自分でできることを増やし、自己肯定感を育んでいるICの子どもたちです！

一人でするのを手伝ってね！



### おたんじょうびおめでとう！

#### 7月

1日 みずはちゃん(2歳)  
12日 じょうじくん(3歳)  
15日 あつのいくん(3歳)  
21日 ゆづきちゃん(2歳)

#### 8月

7日 けいちゃん(3歳)  
りょうくん(3歳)  
8日 れいかちゃん(2歳)  
18日 りんちゃん(2歳)  
24日 まゆいちゃん(2歳)  
30日 きみえちゃん(2歳)

